



頭痛

頭痛の発症機序にはいくつかの原因があります。
大きく一次性と二次性に分かれ、一次性は、片頭痛、緊張性頭痛、群発頭痛があり、二次性は、脳の病変で発生する頭痛です。

一次性頭痛



片頭痛

拍動性の強い頭痛の前に、閃輝暗点(目がチカチカして見づらくなる症状)や吐き気など、前兆の出現することが特徴です。

緊張性頭痛

締め付けられるような頭痛が起こり、めまい、吐き気、手のしびれなどを伴うこともあります。

群発頭痛(片頭痛の重積)

眼の奥(片方)あるいは前頭や側頭に、毎日のように頭痛が起こります。

二次性頭痛



くも膜下出血

ハンマーで殴られたような痛み

脳出血

激しい痛みと嘔吐、意識消失 等

※他にも…

アイスクリーム頭痛や眼精疲労から

くる頭痛などもあり



60

診断

- 1.問診
- 2.神経学的検査
- 3.画像検査

脳神経外科専門医がきめ細やかな診察を致します。

以前に撮影された画像データがありましたら、是非、初めての方でも、お持ちください。

頭痛が起こらないようにするために

1、生活習慣の改善

頭痛対策は、生活習慣の見直しにもなります。

大きな病気にならないように

画像検査の依頼

当クリニックからオンラインにて市立加西病院の放射線科に直接予約を行います。

患者さまのご都合に合わせて日にちを決定いたしますが、

医師の判断によっては緊急依頼の場合もあります。

運動

軽い運動(散歩・自分のペースでのジョギング・ラジオ体操・自転車にのる)は血液の流れを良くし、頭痛を起こしにくくしたり、肥満防止につながります。腕を回す運動や肩を持ち上げるなどの運動も効果的です。



姿勢

肩こりや筋肉の緊張を和らげるためにも、普段からの姿勢を正し、寝るときの姿勢や肩甲骨はがしのような運動を心掛け、なるべく同じ姿勢のままでは作業しないようにします。



減塩

塩分をとり過ぎると体内に水分が蓄積し、血流量を増加させ血圧が上昇しやすくなります。高血圧症は脳出血のリスクを高めます。



検診

普段から健康を心掛け、高脂血症や高血圧症に注意します。



禁煙

喫煙は一時的に血圧を上げるだけでなく、血流を悪くし血液が固まりやすくなり、動脈硬化を進行させます。



2、薬物療法

頭痛に対する薬物療法は対症療法となり、頓服の場合が多いです。片頭痛には、予防するお薬もあります。

脳血管障害が疑われる場合は
近隣の手術、入院ができる病院へ緊急に紹介いたします。

※症状によっては、救急車で搬送いたします。

頭痛は色々な原因でなることが多く、
原因を取り除くためにも
早目の受診をお勧めします。



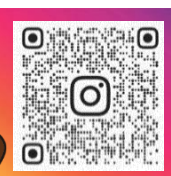
脳梗塞予防のためにも脱水×

熱中症対策

健康診断

自分のため、
家族のために
早期発見!

年に一度は
健診を受けましょう!



当院の情報をホームページから

かがわクリニック

検索



医療法人社団 清明会
かがわクリニック
兵庫県加西市北条町西高室595-11
☎ 0790-43-8887